

貸 借 対 照 表

(平成27年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産		流動負債	
現金及び預金	28	買掛金	21,776
売掛金	27,219	リース債務	44
未収入金	1,837	未払金	7,406
棚卸資産	2,714	未払法人税等	44
前払金	204	未払消費税等	645
前払費用	20	未払費用	897
繰延税金資産	427	前受金	894
関係会社預け金	1,810	預り金	70
その他	63	その他	0
貸倒引当金	△ 323	流動負債合計	31,781
流動資産合計	34,003	固定負債	
固定資産		リース債務	89
有形固定資産		資産除去債務	485
建物	1,114	退職給付引当金	4,916
工具、器具及び備品	700	役員退職慰労引当金	29
土地	279	その他	16
リース資産	91	固定負債合計	5,538
その他	23		
有形固定資産計	2,209	負債合計	37,320
無形固定資産		(純資産の部)	
ソフトウェア	1,471	株主資本	
その他	48	資本金	3,500
無形固定資産計	1,520	資本剰余金	
投資その他の資産		その他の資本剰余金	480
関係会社株式	14,684	資本剰余金合計	480
長期前払費用	7	利益剰余金	
繰延税金資産	1,802	利益準備金	169
長期滞り債権	2,193	その他の利益剰余金	12,943
その他	196	繰越利益剰余金	12,943
貸倒引当金	△ 2,204	利益剰余金合計	13,112
投資その他の資産計	16,680	株主資本合計	17,092
固定資産合計	20,409	純資産合計	17,092
資産合計	54,412	負債及び純資産合計	54,412

損 益 計 算 書

自 平成 2 6 年 4 月 1 日

至 平成 2 7 年 3 月 3 1 日

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		46,113
売 上 原 価		40,355
売 上 総 利 益		5,757
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		3,743
営 業 利 益		2,013
営 業 外 収 益		
受 取 配 当 金	167	
そ の 他 の 営 業 外 収 益	38	205
営 業 外 費 用		
固 定 資 産 除 却 損	43	
そ の 他 の 営 業 外 費 用	111	154
経 常 利 益		2,064
税 引 前 当 期 純 利 益		2,064
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	313	
法 人 税 等 調 整 額	566	880
当 期 純 利 益		1,184

個別注記表

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法

3. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法によっております。

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

4. 固定資産（リース資産を除く）の減価償却の方法

有形固定資産については定率法（ただし、建物は定額法）、無形固定資産については定額法によっております。

耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年以内）に基づく定額法によっております。

5. リース資産の減価償却の方法

(1)有形リース資産

所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数として、残存価額を10%として計算された定率法による減価償却費相当に9分の10を乗じる方法を採用しております。ただし、建物及び建物附属設備については、定額法を採用しております。

(2)無形リース資産

定額法を採用しております。

6. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については債権の回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上することとしております。

(2)退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しております。

数理計算上の差異については、各期の発生時における従業員の平均残存勤務期間に基づく年数による按分額を費用処理することとしております。

過去勤務費用については、平均残存勤務期間に基づき定額法により償却しております。

(退職給付に関する会計基準等の適用に伴う会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げた定めについて当事業年度より適用し、退職給付債務及び勤務費用の算定方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法を変更しております。

退職給付会計基準等の適用については退職給付会計基準第37項に定める経過的な取り扱いに従って、当事業年度の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を期首利益剰余金に加減算しております。

この結果、当事業年度の期首の退職給付引当金が950百万円減少し、利益剰余金が614百万円増加しております。

なお、この変更による当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益への影響は軽微であります。

(3) 役員退職慰労引当金

役員退職慰労金支給に備えるため、会社内規に基づく期末要支給額を計上しております。

7. 消費税及び地方消費税の会計処理

税抜方式によっております。

II. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	2,354 百万円
2. 関係会社に対する金銭債権債務	
関係会社に対する短期金銭債権	56 百万円
関係会社に対する短期金銭債務	9,605 百万円

III. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の主な発生原因

< 繰延税金資産 >

退職給付引当金	1,588 百万円
貸倒引当金	813 百万円
未払賞与等	277 百万円
資産除去債務	155 百万円
繰越欠損金	285 百万円
その他	48 百万円
繰延税金資産小計	3,169 百万円
評価性引当額	△ 864 百万円
繰延税金資産合計	2,304 百万円

< 繰延税金負債 >

有形固定資産（資産除去債務）	△ 75 百万円
繰延税金負債合計	△ 75 百万円
繰延税金資産純額	2,229 百万円

IV. 関連当事者との取引に関する注記

1. 親会社及び法人主要株主等

(単位：百万円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	東日本電信電話株式会社	被所有 直接 100%	電話帳発行業務 の受託	電話帳発行 業務受託等	16,766	売掛金	6
親会社	東日本電信電話株式会社	被所有 直接 100%	電話帳発行業務 の受託	電話帳広告 販売等	19,191	買掛金	9,454
親会社	東日本電信電話株式会社	被所有 直接 100%	資金貸借取引	CMS	105	関係会社 預け金	1,810

2. 子会社及び関連会社等

(単位：百万円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
子会社	NTT印刷株式会社	所有 直接 60.7%	電話帳印刷等 の委託 役員の兼任	電話帳印刷 等委託	8,593	買掛金	96

3. 兄弟会社等

(単位：百万円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社の子会社	西日本電信電話株式会社	-	電話帳発行業務の受託	電話帳発行業務受託等	17,685	売掛金	938
親会社の子会社	西日本電信電話株式会社	-	電話帳発行業務の受託	電話帳広告販売等	27,025	買掛金	11,360
親会社の子会社	株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ	-	電話帳発行業務の委託	電話帳配達・回収作業等	3,977	買掛金	345
親会社の子会社	NTTファイナンス株式会社	-	G間取引システムの幹事会社	資金ネットティング	30,026	未払金	5,952

取引条件及び取引条件の決定方針等

(注1) 価格その他の取引条件は、市場実勢等を勘案して交渉の上で決定しております。

(注2) 取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

(注3) 当社は東日本電信電話株式会社が導入しているCMS（キャッシュマネジメントシステム）に参加しており、資金貸借取引はCMSに係るものであります。利率は市場金利を勘案して合理的に決定しており、担保は設定しておりません。なお、資金貸借の取引金額は期中平均残高を記載しております。

V. 1株当たり情報に関する注記

1. 1株当たり純資産額	244,180円52銭
2. 1株当たり当期純利益	16,919円91銭

VI. 重要な後発事象に関する注記

該当ありません。